

平成 27 年度

琉球大学大学院法務研究科
(法科大学院)

学生募集要項

(A日程・B日程・C日程)

琉 球 大 学

◆入学者選抜の基本方針◆

高い人格と倫理観を持ち、人間味に溢れ、それゆえに地域の人々から深い信頼を得ることができる（すなわち「地域にこだわる」）とともに、日本の法制度と法律を深く理解して、地域の問題を国や世界に発信し、諸外国の法曹とも渡り合える力を持った法曹（すなわち「世界を見つめる」法曹）の養成という当法科大学院の理念に共鳴し、そのような法曹になりたいという熱意と、その素養を持った者を募集します。特に英語力が優れた者には特別枠を設けます。また、多様な人材を確保する観点から、資格や経歴を積極的に評価するなど、社会人・他学部出身者を幅広く受け入れるように配慮します。

◆平成 27 年度入学者選抜日程◆

	事 項	期 日
A 日 程	出願期間	平成 26 年 7 月 22 日(火) ～ 8 月 1 日(金)【当日消印有効】
	選抜試験	平成 26 年 8 月 30 日(土)、8 月 31 日(日)
	合格者発表	平成 26 年 9 月 18 日(木) 11:00
	入学手続	平成 26 年 10 月 7 日(火) ～ 10 月 9 日(木)
	追加合格者への連絡	平成 26 年 10 月 10 日(金)以降 ※定員に欠員が生じた場合

	事 項	期 日
B 日 程	出願期間	平成 26 年 9 月 29 日(月) ～ 10 月 10 日(金)【当日消印有効】
	選抜試験	平成 26 年 11 月 2 日(日)、11 月 3 日(月)
	合格者発表	平成 26 年 11 月 20 日(木) 11:00
	入学手続	平成 26 年 12 月 9 日(火) ～ 12 月 11 日(木)
	追加合格者への連絡	平成 26 年 12 月 12 日(金)以降 ※定員に欠員が生じた場合

	事 項	期 日
C 日 程	出願期間	平成 26 年 12 月 15 日(月) ～ 12 月 26 日(金)【当日消印有効】
	選抜試験	平成 27 年 1 月 31 日(土)、2 月 1 日(日)
	合格者発表	平成 27 年 2 月 13 日(金) 11:00
	入学手続	平成 27 年 2 月 25 日(水) ～ 2 月 27 日(金)
	追加合格者への連絡	平成 27 年 3 月 2 日(月)以降 ※定員に欠員が生じた場合

※支援態勢をさらに充実させました。詳細は、本冊子末尾またはホームページをご覧ください。

琉球大学 法科大学院係（文系総合研究棟 1 階 事務室）
〒 903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地
TEL : 098-895-8091 FAX : 098-895-8187
E-mail : law@w3.u-ryukyu.ac.jp
ホームページ : <http://www.law.u-ryukyu.ac.jp/>

1. 募集人員

A日程 10名 (うち特別選抜3名程度)	2年コース(法学既修者対象) 3名程度
	3年コース(法学未修者対象) 7名程度
B日程 6名 (うち特別選抜2名程度)	2年コース(法学既修者対象) 2名程度
	3年コース(法学未修者対象) 4名程度
C日程 特別選抜を含め若干名	2年コース(法学既修者対象) 若干名
	3年コース(法学未修者対象) 若干名
	合計 16名

2年コースについて

※2年コースの合格者は、1年次配当の必修科目33単位を履修したものとみなし、2年次に配置します(カリキュラム変更があった場合、認定単位数は増減する可能性があります)。

※2年コースは、法学部出身者でなくても受験できます。

併願について

※すべての日程で、2年コースと3年コースの併願ができます。また、一般選抜と特別選抜の併願も可能です。併願することによって受験料が増額されることはありません。

※2年コースと3年コースを併願した者の合否判定は、2年コースから行います。3年コースの合否判定では、法律試験の結果は考慮しません。一般選抜と特別選抜を併願した者の合否判定は、特別選抜から行います。

※先行する日程の試験を受験した者は、その合否に拘わらず、後行する日程の試験を受験することができます(この場合には、通常の出願料が必要です)。したがって、A日程の3年コースに合格した者が、B日程の2年コースを受験することも可能です(3年コースの合格者として入学料を納付している場合には、2年コースに合格した場合でも、入学料は不要です)。

なお、成績優秀者授業料免除制度(巻末参照)の該当者の判定は、各日程毎に行います。

募集人員の変更について

※A日程の合格者がその募集人員に満たないときには、原則として、その欠員数をB日程の各コースの募集人員に加えて、選抜を行います(ただし、A日程の2年コースの合格者が極端に少なかった場合には、同日程の3年コースの合格者を多く出すことはあり得ます)。特別選抜の募集人員についても同様とします。B日程の募集人員について変更がある場合には、改めてホームページ上で告知します。[\(http://www.law.u-ryukyu.ac.jp/\)](http://www.law.u-ryukyu.ac.jp/)

※B日程の2年コースの合格者がその募集人員に満たないときには、その欠員数を3年コースの募集人員に加えて、選抜を行います。

※C日程の募集人員の大幅な変更は行いません。

その他

※3年コースの選抜にあたっては、多様な人材を確保するため、合格者に占める社会人・法学部出身者の割合ができるだけ3割を下回ることをないように留意します。

※社会人とは、大学の学部を最初に卒業した後、学部または大学院で学んだ期間を除き、入学時において満3年以上を経ている者をいいます。ただし、その間、専ら資格試験・国家試験等の受験準備をしていた者は除きます。

※非法学部出身者とは、以下のいずれにも該当しない者をいいます。

①大学で修得した専門科目の単位数のうち法律科目の占める割合が3分の1以上である者

②大学院で修得した専門科目の単位数のうち法律科目の占める割合が3分の1以上である者

※特別選抜合格者には、当法科大学院のインターナショナル・ロイヤー・コース(基礎法学・隣接科目について所定の授業科目2単位以上、展開・先端科目について所定の授業科目8単位以上を修得することを内容とするコースです。なお、修得しなければならない単位数の合計は通常のコースと同じです。)を履修していただきます。

2. 出願資格

本研究科に入学を志願できる者は、財団法人日弁連法務研究財団が実施した「2014年法科大学院全国統一適性試験」を受験した者で、次の各号のいずれかに該当する者です。ただし、適性試験において、その得点（スコア）までの累計人数が受験者数の85パーセントに当たる人数に達する点数よりも低い得点しかできなかった者は、出願することができません（出願に必要な最低点は、平成26年7月16日（水）までに、ホームページ上で告知します。）。

また、特別選抜への出願については、上記の出願資格に加え「（注1）特別選抜の出願について」を満たすことが必要です。

なお、第9号の資格に関しては、「（注2）飛び級による出願について」を参照してください。

- (1) 大学を卒業した者及び平成27年3月までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成27年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学省大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 学校教育法第102条第2項の規程により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (9) 平成27年3月末日において、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（注2）
- (10) 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び平成27年3月までに22歳に達する者

※ 上記出願資格(8)、(9)、(10)により出願しようとする者は、A日程の場合は平成26年6月27日（金）、B日程の場合は平成26年8月22日（金）、C日程の場合は平成26年11月28日（金）までに琉球大学法文学部・観光産業科学部法科大学院係（3.の(4)「出願・試

験に関するお問合せ先 参照) へ直接お問い合わせください。資格審査に関する書類をお送りします。

(注1) 特別選抜の出願について

英語の得点が右のいずれかを満たしていること	TOEFL-PBT	575 点以上
	TOEFL-iBT	88 点以上
	TOEIC	800 点以上

(注2) 飛び級による出願について

第9号の「大学に3年以上在学し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者」として出願するためには、以下の要件を満たす必要があります。

- ①平成27年3月末時点で、大学在学期間が3年以上となる見込みであること（休学期間は在学期間に含まれません。）
- ②平成27年3月末時点で、卒業所要単位のうち94単位以上を修得できる見込みであること
- ③出願時点で提出可能な最新の成績証明書において、修得したすべての単位のGPA（4段階方式）が3.30以上であること

なお、入学試験合格後、上記①②に定める要件を満たさないことが確定したときは、入学許可を取り消します（③のGPAの要件に関しては、出願時点で提出可能な最新の成績証明書のみで判断します。）。

3. 出願手続および出願書類等

出願書類を提出する際には、不備がないよう確認し、本研究科所定の封筒に入れて、**書留郵便**で送付してください。なお、直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。ただし、土曜日及び日曜日は、受付をしません。

(1) 出願期間

A日程	平成26年7月22日（火）～8月1日（金）（当日消印有効） （窓口での受付は、8月1日（金）17:15まで）
B日程	平成26年9月29日（月）～10月10日（金）（当日消印有効） （窓口での受付は、10月10日（金）17:15まで）
C日程	平成26年12月15日（月）～12月26日（金）（当日消印有効） （窓口での受付は、12月26日（金）17:15まで）

(2) 出願に必要な書類等

出願書類等	摘 要	一般選抜	特別選抜
①入学志願票	本研究科所定の用紙に記入すること。 受験を希望する試験場欄に忘れずに○を付してください。	○	○
②適性試験の成績等	「法科大学院全国統一適性試験成績証明カード」を 添付 すること。	○	○
③検定料納付証明書	入学検定料振込後、金融機関の窓口で交付される「検定料納付証明書(大学用)」を切り離し、出願書類に 同封 すること。 詳しくは「 4. 検定料について 」を参照。	○	○
④受験票・写真票	本研究科所定の用紙に必要な事項を記入し、写真は、出願前3ヵ月以内に撮影した正面上半身無帽のもの(縦4cm×横3cm)を貼付すること。	○	○
⑤志願者整理票 ・宛名票	本研究科所定の用紙に記入すること。	○	○
⑥封筒 (受験票等送付用)	本研究科所定の封筒に住所、氏名及び郵便番号を明記し、速達郵便料金の切手362円分を貼付すること。	○	○
⑦外国人登録済証明書	外国籍を有する者は市区町村長発行のもので、出願前1ヶ月以内に交付されたものを提出すること。	該当者	該当者
⑧学業成績証明書	出身大学の学長(学部長)が作成したもの。 大学院在籍中、または修了の場合は、大学院のものも合わせて提出すること。	○	○
⑨卒業(見込)証明書	出身大学の学長(学部長)又は出身学校長が作成したもの。大学院修了または修了見込の場合は、大学院のものも合わせて提出すること。	○	○

⑩志願理由書	A4横書1～2枚(1600字以内)、ワープロ又はパソコンで作成したもの(なぜ法曹になりたいか、どのような法曹になりたいか、本法科大学院を選んだ理由は何かなどを中心)。 「志願理由書」とタイトルをつけ、氏名はタイトルの次段右側に記入すること。 複数枚にわたる場合は、 <u>ホチキス止めにはせず</u> 、ページ下中央にページ番号を付すこと。	○	○
⑪推薦書	A4横書1枚(800字以内)、ワープロ又はパソコンで作成したもの。但し推薦者の署名は必要。厳封の必要はない(人物を判断する資料にするためであり、上司、指導教授、家族、友人等誰に書いてもらうかは各自の判断に任せる)。 「推薦書」とタイトルをつけ、タイトルの次段右側に、推薦者の氏名・住所・受験者氏名・受験者との関係を記入すること。	(注1) 任意	(注1) 任意
⑫TOEFL又はTOEIC のスコア	TOEFL(PBT、iBT いずれも可、但しTOEFL-ITPは不可)またはTOEIC(TOEIC-IPは不可)のどちらか一方のスコアに限る。 <u>2012年8月以降に受験したものを有効とする</u> 。TOEFLは“Examinee’s Score Record”のコピーを、TOEICは「公式認定証」(コピー不可)を提出すること。	(注2) ×	○

※ 外国語で作成された出願書類には日本語の訳文をつけること。

(注1) 但し、提出した場合は評価の対象となり得る。

(注2) 但し、入学志願票の資格・特技を証明するものとして提出することはかまわない。

(3) 出願に関する注意

- ① 出願書類の受付後、提出書類の差し替え、返却及び記載事項の変更は認めません。
- ② 出願書類に記入もれ、その他不備がある場合は受け付けません。
- ③ 出願書類の偽造や内容の改ざん、記載と相違する事実が発見された場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ④ 志願者全員に「受験票」及び選抜試験の日程等を示した「選抜試験受験要領」をA日程は平成26年8月8日(金)に、B日程は平成26年10月22日(水)に、C日程は平成27年1月9日(金)に送付します。上記送付日より1週間経過しても到着しない場合は、法科大学院係へお問い合わせ下さい。

(4) 出願書類の提出先および出願・試験に関する問合せ先

琉球大学 法科大学院係 (文系総合研究棟1階 事務室)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL : 098-895-8091 FAX : 098-895-8187

E-mail : law@w3.u-ryukyu.ac.jp

Webサイト : <http://www.law.u-ryukyu.ac.jp/>

4. 検定料について

検定料 30,000 円（別添「検定料振込書」を使用してください）

検定料振込期間

A 日程	平成 26 年 7 月 14 日（月）～ 8 月 1 日（金）
B 日程	平成 26 年 9 月 22 日（月）～ 10 月 3 日（金）
C 日程	平成 26 年 12 月 8 日（月）～ 12 月 26 日（金）

① 振込方法

- i) 検定料振込書の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。
《依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、振込先（枠内に○印）》
- ii) 金融機関（銀行等）の窓口で振り込み、ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
- iii) 振込手数料については、志願者本人負担となります。
- iv) 金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は、取扱金融機関収納印を確認してください。
- v) 「検定料納付証明書（大学用）」は出願書類に同封して提出してください。

※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関備付の振込依頼書で振込んでください。

振込依頼人氏名は、先に募集区分（法務研究科は 811）、次に志願者本人氏名としてください。

例) 811 タイカク タロウ

振込先口座、金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。

受領書の写しを「検定料納付証明書（大学用）」の代わりに提出してください。

② 留意事項

- i) 検定料が振込まれていない場合、「検定料納付証明書（大学用）」が出願書類に同封されていない場合、「検定料納付証明書（大学用）」に取扱金融機関収納印がない場合は、出願書類を受理しません。
- ii) 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

◎ 検定料を振込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期限が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）

◎ 誤って検定料を二重に振込んだ場合

※上記に該当する場合は、本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し、払い戻しの理由を選択、氏名欄へ押印のうえ、「検定料納付証明書（大学用）」を同封して下記へ送付してください（封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください）。

（返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後 2～3 ヶ月程度かかります。）

送付期限：平成 27 年 3 月 31 日

送付先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL：098-895-8058

5. 選抜方法

(1) 2年コース（法学既修者対象）・・・ABC日程共通

一般選抜：法律試験と面接試験を実施し、適性試験の成績及び他の提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、受験した5科目の法律試験のうち1つでも30%未満の得点の科目があったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とします。また、面接試験の点数が平均点を著しく下回ったときは、不合格とすることがあります。

特別選抜：法律試験と面接試験を実施し、TOEFL 又は TOEIC のスコア、適性試験の成績及び他の提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、受験した5科目の法律試験のうち1つでも30%未満の得点の科目があったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とします。また、面接試験の点数が平均点を著しく下回ったときは、不合格とすることがあります。

※3年コースと併願した者の面接の内容は、3年コースと同様のものとなります。

(2) 3年コース（法学未修者対象）・・・ABC日程共通

一般選抜：面接試験（これに先立って行われた小論文試験の答案の内容についても質疑します。）を実施し、適性試験の成績及び他の提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、面接試験の点数が平均点を著しく下回ったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とすることがあります。

特別選抜：面接試験（これに先立って行われた小論文試験の答案の内容についても質疑します。）を実施し、TOEFL 又は TOEIC のスコア、適性試験の成績及び他の提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、面接試験の点数が平均点を著しく下回ったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とすることがあります。

6. 試験科目等

(1) 2年コース（法学既修者対象）・・・ABC日程共通

科目	内容	配点	
		一般選抜 (100点)	特別選抜 (100点)
適性試験の成績	日弁連法務研究財団の2014年法科大学院全国統一適性試験の成績。なお、第1部から第3部までの合計点をもってその成績とする。	10点	10点
提出書類	入学志願票、志願理由書、成績証明書、推薦書（任意）	5点	5点
面接	提出された書類を資料として個人面接を行い、法曹（法律家）の資質や本法科大学院への適性があるかどうかを見る。	10点	10点
法律試験	下表に掲げた試験科目につき、論述式の試験を行い、同表記載の配点で採点した上で、これを右欄記載の点数に換算した点数をもって、その成績とする。	75点	55点
TOEFL又は TOEICのスコア	TOEFL(PBT、iBT いずれも可、但しTOEFL-ITPは不可)またはTOEIC(TOEIC-IPは不可)のどちらか一方のスコア。 必要最低点については、出願資格の欄を参照すること。		20点

法律試験の試験科目と配点

科目	配点	出題範囲
憲法	100点	
刑法	100点	
民法	150点	
商法	50点	会社法に限る。
刑訴法	50点	上訴・再審の部分を除く。
合計	450点	

(2) 3年コース・・・・・ABC日程共通

科目	内容	配点	
		一般選抜 (100点)	特別選抜 (100点)
適性試験の成績	日弁連法務研究財団の2014年法科大学院全国統一適性試験の成績。なお、第1部から第3部までの合計点をもってその成績とする。	30点	10点
提出書類	入学志願票、志願理由書、成績証明書、推薦書（任意）	10点	10点
小論文	時事・社会問題等に関する小論文	面接の得点の中で評価する	左に同じ
面接	提出された書類と小論文試験の答案を資料として個人面接を行い、法曹（法律家）の資質や本法科大学院への適性があるかどうかを見る。	60点	50点
TOEFL又は TOEICのスコア	TOEFL(PBT、iBT いずれも可、但しTOEFL-ITPは不可)またはTOEIC(TOEIC-IPは不可)のどちらか一方のスコア。 必要最低点については、出願資格欄を参照すること。		30点

7. 試験日時

※ 集合時間、注意事項等は「選抜試験受験要領」に記載します。

※ 初日の面接対象者が多い場合、面接期間を2日目に指定させていただくことがあります。

	2年コース志願者		3年コース志願者	
A日程	8月30日(土)		8月31日(日)	
B日程	11月 2日(日)		11月 3日(月)	
C日程	1月31日(土)		2月 1日(日)	
	9:30～ 11:30	法律試験 (民法、商法)	10:00～ 11:00	小論文
	12:45～ 14:15	法律試験 (刑法、刑訴法)	13:00～	面接 (3年コース単願者 および併願者)
	14:30～ 15:30	法律試験 (憲法)		
	15:45～	面接 (2年コース単願者)		

8. 試験場

A日程およびB日程の試験場は、琉球大学試験場、東京試験場、名古屋試験場、大阪試験場、福岡試験場の5カ所、C日程の試験場は、琉球大学試験場、東京試験場、大阪試験場の3カ所です。出願の際には、必ずいずれか1カ所の試験場を選択してください。なお、出願後の試験場の変更は認めません。

(1) 琉球大学試験場（A日程・B日程・C日程）

試験場の建物入口において注意事項及び試験室配置図(面接の集合場所を含む)を掲示します。

<p>試験場</p>	<p>琉球大学 法文学部（千原キャンパス） 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地</p>
<p>交通機関</p>	<p>○那覇バスターミナル(泉崎) 発 ・琉大(首里経由)線(97番)に乗り「琉大東口」下車 ・琉大線(98番)に乗り「琉大北口」下車 ○沖縄都市モノレール(ゆいレール)の首里駅(終点)で下車し、タクシーを利用して琉球大学へ。交通事情により異なりますが、所要時間は約30分、運賃は約1,500円です。 ※法文学部最寄りの大学通用門は、「琉大東口」です。</p>
<p>試験場案内図</p>	

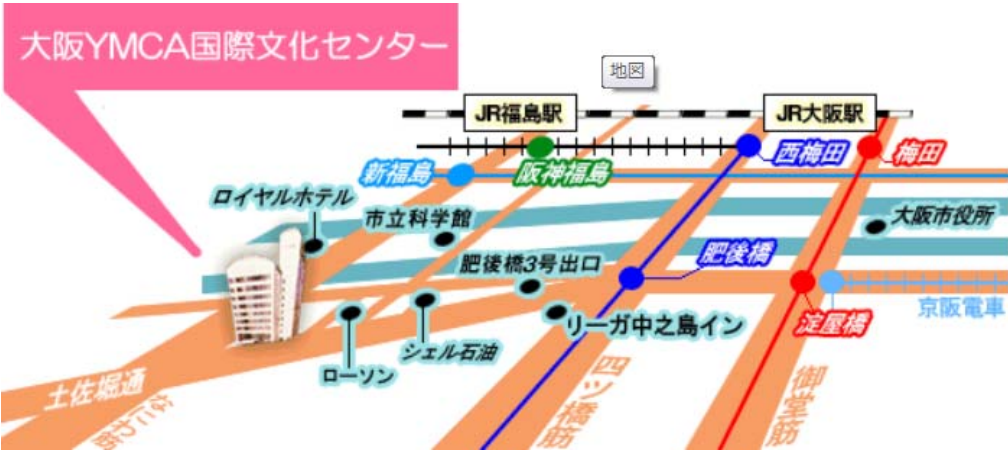
(2) 東京試験場 (A日程・B日程・C日程)

<p>試験場</p>	<p>メトロポリタン法律事務所 東京都新宿区新宿二丁目8番1号 新宿セブンビル805号室</p>
<p>交通機関</p>	<p>地下鉄・東京メトロ丸の内線「新宿御苑前」駅 新宿最寄り出口(1番出口)を出て、目の前にあるビルの8階 (1階にコンビニ「ファミリーマート」と居酒屋「和民」有り)</p>
<p>試験場案内図</p>	

(3) 名古屋試験場 (A日程・B日程)

<p>試験場</p>	<p>名駅セミナーオフィス 愛知県名古屋市中村区名駅2-41-17 OA第2ビル3F</p>
<p>交通機関</p>	<p>JR名古屋駅 6分 地下鉄名古屋駅 10番出口 2分</p>
<p>試験場案内図</p>	

(4) 大阪試験場 (A日程)

試験場	大阪YMCA国際文化センター 大阪府大阪市西区土佐堀1-5-6
交通機関	地下鉄四つ橋駅「肥後橋」駅下車 3号出口西へ徒歩5分
試験場案内図	 <p>The map shows the location of the Osaka YMCA International Cultural Center (大阪YMCA国際文化センター) in a pink callout box. It is situated near the JR Fukuoka Station (JR福島駅) and JR Osaka Station (JR大阪駅). The subway line shown is the Yamanote Line (山手線), with stations including Shin-Fukushima (新福島), Fukuoka-Fukuoka (阪神福島), and Nishinomiya (西梅田). The center is located near the 3rd Exit (肥後橋3号出口) of the subway station. Other landmarks include the Royal Hotel (ロイヤルホテル), City Science Museum (市立科学館), and Osaka City Hall (大阪市役所). The map also shows the location of the center relative to the Yamanote Line and the Yamanote Line (山手線).</p>

(5) 大阪試験場（B日程、C日程）

<p>試験場</p>	<p>大阪科学技術センター（OSTEC） 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4</p>
<p>交通機関</p>	<p>地下鉄四つ橋線本町駅下車 ②番出口 北へ徒歩3分 地下鉄御堂筋線本町駅下車 ②番出口 西へ徒歩7分</p>
<p>試験場案内図</p>	<p>The map shows the location of OSTEC (大阪科学技術センター) in the area of Honmachi, Nishi-ku, Osaka. Key features include: <ul style="list-style-type: none"> Transit Lines: 京阪中之島線 (Keihan Nakanoshima Line), 地下鉄四つ橋線 (Subway Yotsubashi Line), 地下鉄御堂筋線 (Subway Midosuji Line), and 地下鉄中央線 (Subway Chuo Line). Landmarks: 朝日新聞ビル (Asahi Shimbun Building), 土佐堀通 (Tsuji堀 Street), 肥後橋 (Higo Bridge), 淀屋橋 (Yodoyabashi Bridge), 信濃橋三井ビル (Shinonome Bridge Sanwa Building), and 本町通 (Honmachi Street). Other Locations: うつぼ公園 (Utsubo Park), IBM, and NIN. Directions: 至西梅田 (to Nishinomiya) and 至梅田 (to Umeda) are indicated for the subway lines. 至なんば (to Namba) is indicated for the Chuo Line. Exit Information: Exit 28 (②番出口) is marked for the Yotsubashi Line, and Exit 2 (②番出口) is marked for the Midosuji Line. </p>

(6) 福岡試験場 (A日程・B日程)

試験場	福岡外語専門学校 福岡県福岡市東出馬出1-8-27
交通機関	J R鹿児島本線「吉塚駅」下車 徒歩3分(博多税務署裏) 市営地下鉄 馬出九大病院前駅下車 徒歩3分
試験場案内図	

9. 合格者発表

A日程 平成26年9月18日(木) 午前11時

B日程 平成26年11月20日(木) 午前11時

C日程 平成27年2月13日(金) 午前11時

本学文系総合研究棟玄関前に掲示するとともに、本人あてに合格通知書と「入学者心得」および入学手続書類を郵送します。

琉球大学法科大学院ホームページでも提供します。不合格者への通知は行いません。

10. 入学手続

A日程 平成26年10月7日(火)～10月9日(木)

B日程 平成26年12月9日(火)～12月11日(木)

C日程 平成27年2月25日(水)～2月27日(金)

詳細については、合格者あてに別途通知します。

11. 身体に障害を有する志願者の事前相談

身体に障害がある場合は、受験上および修学上特別な配慮を要する場合がありますので、事前に法科大学院係（098-895-8091）に相談してください。

12. 追加合格について

入学手続終了日において募集人員に欠員が生じた場合は、A日程は平成26年10月10日（金）以降、B日程は平成26年12月12日（金）以降、C日程は平成27年3月2日（月）以降に、志願票に記載された「連絡先」へ電話により追加合格の照会をすることがあります。入学の意思について、本人（代理は認められません）に確認しますので、本人の所在を明らかにし、連絡がとれるようにしてください。

13. 入学料及び授業料

入学料は銀行振込となります。詳細は「入学者心得」でお知らせします。

入学料 282,000 円（予定）

授業料 前期分 402,000 円（年額 804,000 円）（予定）

（注）① 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

② 授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

③ 入学料の免除または徴収猶予あるいは授業料の免除を希望する者（対象者については、合格者に送付する「入学者心得」で詳しく説明します。）は所定の免除申請手続きを行うことにより、免除または徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料または授業料の納付が猶予されます。

14. その他経費

入学時には、入学料及び授業料とは別に、学研災付帯賠償責任保険・法科大学院教育研究賠償責任保険（略称：法科賠・Lコース）への加入保険料が必要です。

保険料（2ヶ年分：6,350 円、3ヶ年分：9,500 円）

この保険には、法科大学院の全学生が加入することとなっています。詳細は「入学者心得」でお知らせします。

15. 入試情報開示に関する事項

(1) 入試問題

各日程の合格者発表が終了したのち、琉球大学法科大学院ホームページで公開します。

(2) 入試に関する統計（志願者数、合格者数、その他統計）

入試に関する統計は、その都度公表していく予定です。入学者が決定しましたら、最終的な統計を公表します。

(3) 試験成績

本研究科では、平成27年度入学者選抜に係る個人成績を本人に限って開示します。

試験成績開示の手続についての詳細は琉球大学法科大学院ホームページをご覧ください。

16. 東日本大震災により被災した平成27年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について

琉球大学では、平成26年度に実施される全ての入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特別措置を実施することとしましたのでお知らせします。

1. 措置内容

検定料(30,000円)の免除

2. 免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類
① 東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により、警戒区域又は計画的避難区域に指定された者	被災証明書

3. 申請の方法

本学所定の様式（検定料免除申請書）に、り災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。

なお、申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。

充実した支援体制

学修面では・・・

★ 指導教員制度

学年ごとに2名の指導教員が配置されており、履修方法・成績・進路・経済的支援制度の利用等についての相談を随時受け付け、親身になって指導・アドバイスをを行います。

★ 沖縄弁護士会との連携

沖縄弁護士会の琉球大学法科大学院に対する強力な連携・支援体制のもと、ロー・スクール出身の若手弁護士が、AA（アカデミック・アドバイザー）として授業をサポートし、また答案練習会やオーダーメイド・ゼミのチューターを積極的に行います。

経済面では・・・

★ 授業料免除制度等

○ 成績優秀者授業料免除制度

成績優秀者に対して年間授業料の全額または半額を免除するものです。新生は入学者選抜試験の成績を、また在學生は法科大学院における前年度の成績をもとにして免除が決定されます。平成27年度の入学者については、入学初年度年間授業料につき最大5名が全額免除の対象となります。

※ 5名の内訳は、以下のとおりです。

A日程：2年コース合格者のうち上位2名、3年コース合格者のうち上位1名

B日程：2年コース合格者のうち上位1名、3年コース合格者のうち上位1名

C日程：入学者選抜試験の成績が特に優秀であった者（0～1名）

授業料免除の対象者には、合格発表後、速やかに通知いたします。次年度以降は、各学年につき数名の成績優秀者が授業料の全額または半額について免除される予定です。

○ 経済的理由等による入学料免除、入学料徴収猶予、授業料免除制度

経済的理由によって入学料及び授業料の納入が著しく困難な者を対象として、入学料の免除・徴収猶予制度、授業料免除制度を設けております。

○ 長期履修制度（詳細はホームページで確認してください。）

有職・育児等の理由により、標準修業年限（3年）で修了することが困難な学生について、申請により、3年間分の学費で4年間から6年間かけて計画的に履修できる制度です。平成25年度現在、7名が承認されています。

○ 授業料の細分化設定制度

標準修業年限（3年）を超えて在学している場合の授業料は、それぞれの期において履修すべき単位数に応じた金額となります。

★ 独自奨学金制度

○ ①鎌倉フェローシップ・沖縄ロースクール 奨学金、②当山フェローシップ・琉球大学法科大学院奨学金

どちらも新生を対象とした返還義務のない奨学金で、①は、一般財団法人鎌倉フェローシップのご好意により1～2名に年額36万円が3年間（3年コースの場合）給付されます。また、本学出身者で沖縄弁護士会会長などの重職を歴任された当山尚幸弁護士からのご寄付をもとに本年度から新たに始まる②も、同内容の給付が1名に対してなされます。いずれも入学後に申請書類を提出していただき、プレゼンテーション等の審査を経て対象者を決定します。

※ 上記の奨学金のほか、日本学生支援機構の奨学金も利用できます。